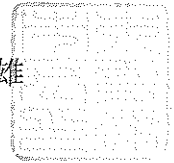


本土第 287 号
平成 20 年 10 月 16 日

国土交通省道路局長 様

木更津市長 水越 勇雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成 20 年 9 月 19 日付け国道企第 37 号で依頼のありましたこのことについて
別紙のとおり回答いたします。

記

- 1 提出書類 今後の道路行政についての意見・提案
様式①～④

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

・改善すべき点

道路築造事業について、必要最小限の整備を行うことが望ましい。

重要路線選定により、整備順位を策定し実施することが望ましい、ただし、都市部と地方部との格差を考慮する必要がある。

補助事業採択の簡素化、現状の補助制度では単独補助採択は非常に難しいため。

高速自動車専用道路整備について、地方部と都市部を連絡する箇所選定を行い、優先順位を選定し整備

・要望や提案

高速自動車専用道路を利用した、高速路線バス網の確立

首都圏への通勤圏内であるため、アクアラインを含めた高速道路の通行料金の値下げを実施していただきたい。

道路に限らず維持管理の時代に突入している、維持修繕事業に対し補助事業の拡充をお願いしたい。

今後の道路行政について意見・提案

②-1 地域の現状と抱える問題点

○現状 道路舗装率は、約97%に達している。 橋梁は、大多数が旧道路構造令にて架設している。 木更津・君津地域は、良質な山砂が採取される。	○課題 舗装は、経年劣化が著しいことから、維持補修費用が増加している。 主要道路の橋梁については、落橋対策を実施しているが、他の橋梁については耐震診断等を行っていないのが現状である。 山砂運搬等による、騒音、振動、粉塵等の公害が発生している、ダンブカー協会と対策について調整を行っているが良い解決策が見当たらない。
---	---

今後の道路行政について意見・提案
②ー2 地域の目指すべき将来像

様式③
千葉県木更津市

平成10年12月21日策定された木更津市基本構想実現に向けて取り組んでいるところである。

基本構想のうち、中心市街地活性化を現状では図っているところである、中心市街地に隣接する木更津港港湾地域や臨海部未利用地等の遊休地を活用した都市活力維持・再生に向けた産業再生を図り空洞化した中心市街地を活性化するものである。

今後の道路行政について意見・提案

様式④

千葉県木更津市

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等

○重点事項 ・地域活力の向上	○代表事例 圏央道木更津東ICから東関道大栄JCTまでの早期開通	○期待する効果や評価等 本市は、首都圏及び成田空港からの中間点に位置し、かずさアカデミアパークを有しており国際会議等の開催が見込める。	○その他